



みさと

No.39

2014.7

美郷町議会だより



カエル捕まえた!

生き物調査

邑智小学校4年生のみなさん

P2 第2回 定例会報告

P3 議会活動報告 (平成26年3月～)

P4 第3回 臨時会報告

P5～9 一般質問 -5人登壇-

P10 がんばれ三江線!

P10 シリーズ追跡 どうなったの? あの質問…

P11 住民の声

P12 議員ひとり歩記

P12 議会改革の小さな一歩ですが…

P12 編集後記

平成26年美郷町議会 第2回 定例会報告

提案された議案

条例案

町委員会の委員等並びに非常勤の職員に対する報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例

委員会の委員並びに非常勤の職員に対しては、費用弁償支給額区分表に定める日当を支給するもの

平成26年第2回定例会が6月9日に招集され、会期を6月13日までの5日間と決め、条例案3件、予算案6件、一般事件案3件、報告事件案2件の計14件が提案され慎重審議しました。

また、6月12日には一般質問が行われ、5名の議員が質問台に立ちました。

提案された議案につきましては、13日の最終日に全議案とも原案どおり可決、承認され閉会しました。

平成26年度一般会計補正予算並びに特別会計補正予算

(単位：千円)

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	7,340,000	16,179	7,356,179
簡易水道事業特別会計	269,174	44	269,218
下水道事業特別会計	264,470	7	264,477
国民健康保険特別会計	700,280	5,009	705,289
国民健康保険診療所特別会計	82,082	411	82,493
後期高齢者医療特別会計	188,377	20	188,397

予算案

町税条例の一部を改正する条例
地方税法及び地方税法施行令の一部を改正する法律の施行に伴い、条例の一部を改正するもの

一般事件案

町社会教育委員設置条例の一部を改正する条例
社会教育法の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの

専決処分の承認(税条例の一部を改正する条例)

地方税法及び地方税法施行令の一部を改正する法律の施行に伴う、条例の一部を改正するもの

専決処分の承認(国民健康保険条例の一部を改正する条例)

地方税法及び地方税法施行令の一部を改正する法律の施行に伴う、条例の一部を改正するもの

主な内容は、後期高齢者支援金等課税額、介護給付金課税額の限度額等の改正

専決処分の承認(平成25年度一般会計補正予算「第5号」)
地方譲与税、各種交付金、特別交付税の額の確定したことによる補正

報告事件案

平成25年度一般会計繰越明許費

町道赤来光峠線改良事業、町道都賀行宮内線改良事業、林道一本木線開設事業、交通安全対策事業、公共土木災害復旧事業等、平成25年度で予算化した事業を翌年度へ繰越したものの報告

平成25年度下水道事業特別会計繰越明許費

小型合併浄化槽5基相当分を平成25年度で予算化した事業を翌年度へ繰越したものの報告

請 願 の 要 旨	審査結果	付託常任委員会	請 願
林道光峠線道路改良についての請願（美議請第1号）	採 択	経済常任委員会	

発 委

6月13日の最終日には議会運営委員会から1件の委員会発議が提出され、全会一致で可決されました。

町議会委員会条例の一部を改正する条例

常任委員会の名称、委員の定数及び各常任委員会の所管課を次のとおり改正しました。

改 正 前			改 正 後		
委員会の名称	定数	所 管 課	委員会の名称	定数	所 管 課
総務常任委員会	6人	総務課、住民課、健康福祉課、大和事務所、教育委員会	総務常任委員会	7人	総務課、企画財政課、定住推進課、大和事務所、出納室
			教育民生常任委員会	7人	住民課、健康福祉課、教育委員会
経済常任委員会	6人	企画財政課、定住推進課、産業振興課、建設課、出納室、農業委員会	産業建設常任委員会	7人	産業振興課、建設課、農業委員会

各常任委員会構成（委員長を除き1人2委員会に所属）

総務常任委員会（7名）	
委員長	安 田 勝 司
副委員長	岩 根 和 博
委員	佐 竹 一 夫
委員	黒 川 民次郎
委員	西 嶋 二 郎
委員	栗 原 進
	欠 員

教育民生常任委員会（7名）	
委員長	山 本 幹 雄
副委員長	藤 原 修 治
委員	佐 竹 一 夫
委員	岩 根 和 博
委員	福 島 教次郎
委員	原 克 美
	欠 員

産業建設常任委員会（7名）	
委員長	旗 根 正 一
副委員長	福 島 教次郎
委員	西 嶋 二 郎
委員	黒 川 民次郎
委員	藤 原 修 治
委員	栗 原 進
委員	原 克 美

議会活動報告（平成26年3月～）

日付	場 所	活 動 内 容	日付	場 所	活 動 内 容
3月			5月		
24	江津市（江津邑智消防組合消防本部）	平成26年江津邑智消防組合議会定例会	8	美郷町役場	議会運営委員会
25	美郷町役場	美郷町議会第2回臨時会	15	美郷町役場	庄原市議会来庁 タブレット視察
25	美郷町役場	広報委員会	24	美郷町役場	議会運営委員会
4月			26～28	東京都	町村議会議長・副議長研修
2	美郷町役場	広報委員会	6月		
3	美郷町役場	広報委員会	9～13	美郷町役場	美郷町議会第2回定例会 庄原市議会議員8名傍聴（9日）
11	美郷町役場	広報委員会	23	美郷町役場	議会運営委員会
24	美郷町内	町内行政視察	26	美郷町役場	美郷町議会第3回臨時会

第3回臨時会報告

国保税 引き上げ

■議案第56号

国民健康保険税条例を改定する条例

■議案第57号

国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

【議案説明】

税率改定を必要とする理由は、①国保加入者の世帯数、被保険者数が減少する中、一人あたりの医療費が増加していること。②平成30年度から県単位化が図られる動きとなっており、美郷町の現行税率と比較すると

上昇幅が大きくなるため激変緩和を図る必要がある。③保険税算定方式を4方式から3方式に改定する必要がある。税率等の改定に当たって、1世帯当たり一人当たりの算定額の上昇率を12%以内とし、被保険者の負担軽減に努めた。応能割額(所得

割・資産割)と応益割額(均等割・平等割)をそれぞれ概ね50%の構成費とし、資産割率は廃止を視野に据え置きとした。これにより税額は、「一人当たり換算で年間9749円(1・81%増)」、「1世帯当たり換算で、年間1万3982円(11・51%)」の引き上げになる。

【質疑応答】

問 保険税の算定方式が今回4方式を、資産割を除いた3方式にしまった理由は

答 資産割に占める割合は10%と高い率を占めている。これは持ち家率が高いことが要因だ。資産割を無くすと所得割の負担が増える。邑南町、川本町は資産割を除いた3方式になっている。

問 広域化は30年になるようだが、そこまでの改定計画は

答 美郷町は保険料率が低い方になっているが27、28、29年度の収支バランスを見ながら年度ごとに検討していかなければならないと思う。

問 美郷町の一人あたりの医療費が高い原因は

答 美郷町の国保加入者の若年層は非常に少なく、平均年齢が高いことと、スポーツ的に高額医療費を使われる方があるのが要因。これは、特定健診受診率は非常に高いが、その後の精密検査の受診率が非常に少ないことも考えられる。

問 軽減世帯の割合は

答 805世帯1241人の被保険者のうち軽減対象が492世帯735人の被保険者、7割軽減は265世帯338名、5割軽減は135世帯228被保険者、2割軽減が92世帯169被保険者と算定している。

採決の結果全員賛成で原案のとおり可決しました。



旗根 正一 議員

災害時の 避難宿泊施設を指定してはどうか

施設管理者と協議し早急に対処する



全面通行止となっている湯谷上山線

問

近年、異常気象により全国各地で想定外の災害に見舞われている。美郷町においても昨年7月末発生した豪雨災害で、湯谷地区が孤立状態となり冬季には一時的に移住されるなど、大変なご不便とご苦勞をおかけしている。

土砂災害の危険性があり自宅で生活することに不安を感じられる方などが、安全・安心な生活をしていただくため、一時避難宿泊施設として潮温泉大和荘、遊・湯ランド潮村のバカンスハウスを指定して利用してはどうか。

答

町長 潮温泉大和荘、遊・湯ランド潮村のバカンスハウスの避難宿泊施設の指定についてですが、当施設を利用して避難場所として指定する

ことに對し管理者と協議をし、早期に災害協定を結べるよう前向きに努力していく。

問

料金については大和荘としては1/3を免除することは可能であると聞いている。

来島ダム分水問題について 10年間の検証結果を静観

問

来島ダムの分水問題については平成24年第3回定例会で質問しているが、今年になり頻繁に新聞報道されている。神戸川上流にある来島ダムは潮発電所とセットで中国電力が1956年に建設し発電事業を行っている。

答

町長 水利使用許可の期限は平成25年3月31日となっているものの、その時点では町は島根県及び国土交通省の動向を静観せざるを得ない状況にあった。平成25年3月29日第1回神戸川潮発電所水利使用に関する調整会議が開催されて以来、本年5月15日まで7回の調整会議が開催されている。また、先般6月6日には出雲市長が毎秒2トンを放流し、10年間の環境調査のうえ水質が著しく悪化すれば分水廃止の考えを中国電力や県と議論する意向を示された。町はこの提案を尊重する考えであり、水力発電の重要性を踏まえ現状維持を願うことに加えて、自然の資源共有を強く望む。

問

中国電力管内94カ所ある水力発電所の中で3番目に大きい施設で、約4万世帯の電力消費を賄うことができる。また、潮発電所は電力供給の調整弁の役割もあり必要不可欠とされている。県も再生エネルギーの導入推進協議会を立ち上げ水力発電の事業化に取り組んでおり、こうしたクリーンエネルギーを存続させていかなければならない。廃止になれば税収入の問題もあり心配しているが、神戸川再生推進会議の4月に開催された700名の住民が参加した総決起大会が開かれるなどの状況の中、今後どのような方向に進むのか町長の見解を伺う。

答

町長 神戸川再生会議の運動も強力に展開されているが、第一回目の会議の中で美郷町も意見を求められ、「意見を述べる立場にないこと。」「現状維持をお願いする。」ことを申し上げた。3・11以降原子力発電が発電を中止されている状況の中、水力発電は純国産の再生エネルギーとして重要な役割を果たしている。今後は、出雲市長が県に申し出をしている、10年間の検証結果を見て結論を出す案に同調していく。

職員定数の適正化と定員管理は

定員適正化計画に基づき 定員確保に努める



福島 教次郎 議員



職員定数条例は総定数

111人、25年度は職員数101人、26年度は2人減の教育長を含め99人でスタートをした。美郷町が誕生して10年目を迎えたが、行財政改革は、時代の流れに乗り必要不可欠なものとして特に職員の定数問題が取り上げられてきた。

合併当時は職員143人が在職、その後勧奨退職や電子機器の導入や、リストラが進められ、今年度はとうとう100人を切るほどの状況となった。職員の減による影響であるが、業務量が特に減らない限り、人的不足となり業務は積み残しとなる。或いは恒常的な残業状況に陥っていないか危惧している。こうした中、窓口対応であるが、特に大和事務所の職員数は半減し、公民館兼務1人を含む5人での管理運営状況であり、住民サービスが低下していないか心配をしている。職員に負担が増えてはいないか。男女共同参画の面から女性の割合は現在何%くらいで、指導的地位職員数に占める状況と平成20年に内閣府が策定したポジティブアクション

ンをどうとらえているか。

職員定数と切り離しにできない給与についてであるが、ラスパイレース指数は、国100とした場合、参考値として96・8というものが示されており、この数字についての認識と、どのような基準を持って職員定数が定められ、定員管理が行われているのか基本的なことを町長に尋ねる。また、※2040年問題では全国で約半数の自治体が消えるとも言われている。島根県では8割以上が市町村消滅の可能性があるとも言われている。定住子育てライフ5つ星をはじめ、様々な町単独の政策が実施・展開されているが、事業を動かす、動かさないのもすべて職員である、このことも考慮されて適正な定員管理を望む。



町長 第2次美郷町定員適正化計画に基づき推

移し、本庁・大和事務所ともサービス低下にならないよう、精一杯努力をしている。大和事務所での昼休み対応の選挙事務は、臨時職員での対応を検討。全職員98人中女性職員は35人で35・7%、管理職に占める状況

は、課長11名・課長補佐14人の合計

25人中、女性職員は2人の8%である。ポジティブアクションは男女共同参画を社会の実現に向けて平成32年を目標に、指導的地位に女性が占める割合が3割程度になることを期待した数値目標であり、女性管理職の将来割合については、2割から3割目指すこととしている。

ラスパイレース指

数は、96・8%となっておりほぼ平均値の位置にあり、職員定数や定員管理は第2次美郷町定員適正化計画については、新たな定員管理指標として、平成22年度以降も厳しい財政事情が続くという見通しの中で、歳出削減対策の一環として人件費の抑制を念頭に平成27年度までの計画である。この計画に基づき定員管理を実施しているが、今後



本庁の窓口業務の状況



総務課長 職員の健康管理

の社会情勢や行政組織のスリム化だけでなく、地域の実情に応じた適正な定員確保に努める。理については、極力休憩を取ってするよう口頭で指導をしている。

※2040年問題：2040年までに全国の896自治体で20歳以上の女性が半減するという調査結果



栗原 進 議員

地域おこし協力隊を受け入れ 地域は変わったか

地域の賑わいづくり、活性化に 一定の成果

問

地域おこし協力隊の受け入れ事業は平成21年総務省によって制度化され、人口減少や少子高齢化等の著しい地方自治体が公募を行い、地域おこしに意欲のある都市住民のニーズや、地域などに興味のあ

答

町長 美郷町においては高齢化や急激な少子化による地域力が低下し、将来において地域の存続すら危惧される中、地域力の維持、強化を図るため、平成21年度から地域おこし協力隊制度を導入し、各地域でさまざまな形で積極的に地域おこし協力隊事業が進められている。NPO法人の設立、また、地域の特産品や観光商品の開発が行われるなど、地域の賑わいづくり、活性化に一定の成果が表れている。一方で隊員と地域のニーズのアンマッチや重労働など、さまざまな悩みの声も聞かれ、定住率は30%と全国平均の47.5%、島根県平均の34.4%と比較しても低い状態にある。今後は、これらの課題を検証し、定住の増の改善に努めるとともに、生活支援など労力補完型にもむきを置くだけでなく、外部人材を活用した地域づくりが今後より一層円滑に進むよう、協力隊員の起業、就職を視野に入れ、3年間の業務の中で定住につながる事業の展開が必要と考えている。

問

地域が抱える課題はさまざまなあるが、定住定着を見据えた受け入れの必要性、また、隊員の地域での活動が見えにくいとの指摘もあり地域住民へのPRも必要と考えるが。

答

定住推進課長 受け入れた地域も、地域をこうしたいからこういう人を配置して欲しい、組織の中にこうした専門的な人がほしいとか、はつきりとした目的を持った配置希望が見受けられる。そういうノウハウを持った協力隊の受け入れが今後は必要ではないかと思っている。

ホームページ等で公表をするとの通知もされ、また、そういう声も町内であるということも認識している。6月の広報紙「広報みさと」に、都賀長藤地域の協力隊の活動を皮切りに活動を紹介し、ホームページでも情報を発信していきたいと思っている。



熊本での竹灯籠作り研修

この制度の受け入れは、町長が第1回定例議会施政方針の中で4つの重点課題を述べているが、その中の定住対策、集落・地域の活性化につながる事業として、制度が発足し5年を経過しようとしているが、地域おこし協力隊を受け入れ地域がどう変わったのか、成果と課題、今後の事業の活用について伺う。

隊員の活動の状況は、総務省より、隊員が従事する地域活動の内容等を広報紙、



岩根 和博 議員

公共交通の現状と今後のあり方は 地域住民・交通事業者・行政が課題を共有し 美郷町の公共交通を再編する

問

幹線石見交通粕淵線、1日7往復便を運行している。高齢化が進む今日、必要不可欠な路線である。しかし、助成金を頼る運行で企業努力が見えていない。美郷町第一次長期総合計画では平均乗車率を、平成25年度と27年度3・0人となっている。現在の状況と今後の公共交通のあり方について尋ねる。

答

町長 現在町内を走るバス路線は、民間3路線・町営3路線・飯南町の町営バス1路線の計7路線がある。石見交通大田バスセンターと粕淵駅・酒谷間を7回運行している。高校生・中学生の通学の手段また高齢者の病院。買い物等重要な路線である。

1日の利用者数は、最近の調査で62人、1便当たり平均利用者数を表す乗車密度は0・85である。運行に係る収支実績は、平成25年度は経常経費から経常収益を差し引いた計上欠損金は2599万7千円で、欠損金は島根県が2分の1、残りを大田市と美郷町で補てんしている。今後の公共交通については、高

問

年齢者の運転免許保有率の上昇に合わせ減少すると予測、一方高齢者や子供たちの移動手段を支える公共交通の確保は重要な課題である。地域の状況に応じた移動手段の検討等、効率的で持続可能な公共交通のあり方を地域住民、交通事業者、行政が課題を共有し、平成25年度策定の、地域公共交通計画案を基に、美郷町の公共交通を編成する。

答

町長 大型バスを運行しているのは、企業努力になるかどうかは別として石見交通は各路線の小型化を廃止している。

問

赤字を補てんするのは、町民の税金である。今後町民の減少により膨大な負担金が増えることは明らかである。

答

町長 このままいけば現状の状況で赤字補てんはついてまわる。今年度は、2路線を検討、粕淵、小学校スクールバスと町営バスと並行してい

問

スに中学生は乗れないのか、乗せないのか。

答

町長 現在小学生的スクールバスは専用と聞いている。

問

利用をするのに家からバス路線に出るまでが困難である。三江線も7月19日から全面開通するが、バス乗車と同じく駅まで出るのが難しいことを踏まえて計画を立ててほしい。

答

町長 これからの検討課題だと思っている。この問題が即決解決できるものではないが、町民の安心安全を守る面からも少々犠牲になっても一つの行政の仕事であろうと思っている。

要望

論議が論議で終わらないようぜひとも一つ一つの問題を解決して、交通弱者の立場に立った行政を願う。



スクールバス



藤原 修治 議員

36億の基金積立がはたして 活力ある町づくりにつながったのか

基金目的にそい知恵を絞って 使途を考えることが大事

合併後に約1千人の人口が減少したわけだが、一般会計予算の半分にも匹敵する基金36億円を積み立てたことがはたして本町の活力ある町づくりにつながったのか。貴重な財政資金をもっと有効に活用すれば、違った結果になったのではないか。このことも踏まえ、今後のこの基金を基にした活力ある町づくりへの長期的視野に立った将来構想を伺う。

答

町長 今後第2次美郷町長期総合計画を平成27年に策定することとしており、各政策の検証を行うとともに、議員の皆様をはじめ、町づくり委員会の皆さんのご意見を伺いながら、定住対策、子育て支援対策、さらには福祉対策、産業雇用対策など皆が笑顔で幸せを実感できるまちづくりの実現に向かって町づくりビジョンを進める。

問

合併後に約1千人の人口が減少したわけだが、一般会計予算の半分にも匹敵する基金36億円を積み立てたことがはたして本町の活力ある町づくりにつながったのか。貴重な財政資金をもっと有効に活用すれば、違った結果になったのではないか。このことも踏まえ、今後のこの基金を基にした活力ある町づくりへの長期的視野に立った将来構想を伺う。



第一次長期総合計画

問

27年度から計画作成の事にあたるといことだが、1年間でこの大事な10年間の総合計画ができるのか。

答

副町長 新たに第2次の美郷町の長期総合計画をつくる作業については、基本的にはすべて職員と住民の手でつくるといことで、コンサルタント委託は考えていない。基本的には1年期間があれば、まとまると思う。集中した集い何度も開催していただかなければならないと思う。

目的や必要性が希薄な基金の 有効活用は

見直しも含めて有効活用すべく
検討したい

問

土地開発基金や鴨山記念館収蔵品取得基金は、合併後に使用された経緯があるのか。

答

副町長 どちらの基金も合併以後は使用していない。土地開発基金については、使われないからやめるというようなものではないと思う。鴨山収蔵品取得については、所管あるいは担当が関心を常に持つていれば、購入の機会もあったと思うが、職員の努力が足りなかったこと、あるいは住民の皆さん方からいただく忠告、ご意見もなかったこと等によって使われなかったというふうに思う。

問

他の基金に付け替えるなどの有効活用策を実施する考えはないか。

答

町長 それぞれ特定目的金であり、中には積み立てたものの活用をされていない基金もある。今後、見直しも含めて有効活用すべく検討したいと考える。

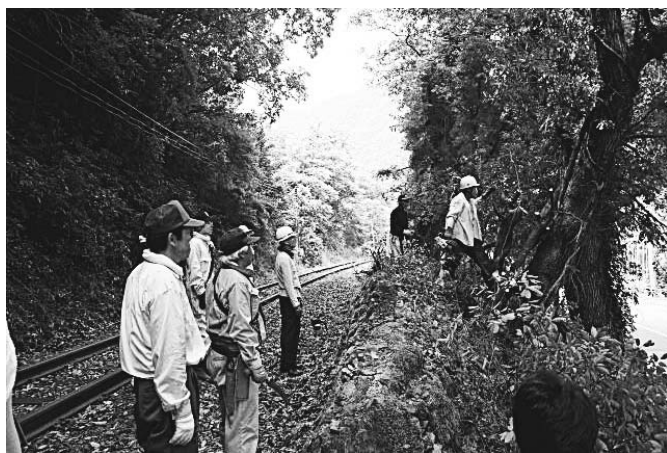
問 合併以来ほとんど活用されず、目的や必要性が希薄となっているこれらの基金を、



鴨山記念館の収蔵品

がんばれ三江線!

三江線を守る議員連盟 事務局次長 山本幹雄



大木の伐採作業

三江線が走らなくなってもうすぐ1年という6月14日、三江線沿線の景観を良くするボランティア作業に参加した。

昨年の豪雨災害で不通になっている乙原地内の竹駅周辺の樹木や枝落し、草刈りをして三江線の車窓からの景色を良くしようとの三江線活性化協議会の呼びかけに賛同して、議会から篠根、山本の2名が参加した。

「列車の運休期間を利用して沿線の支障木を切つてはどうか」との一般質問に、「運休期間中とはいえ、軌道内には信号設備などがありJRが制限をするだろう」との答弁であつたが、そのとおりで自由に伐採作業ができる状況ではなかつた。

もっと他の場所で景観に支障のある場所が多くあつたが、JRとの協議の結果ここになつたようである。

線路内に入らないようにとの注意を受け、雑木や杉の枝、竹が密集している民地で所有者の許可を得ての作業になつた。



参加者全員の記念撮影

高い場所には梯子をかけ、森林作業のベテランの応援を受けての伐採である。

道路は片側通行にし警備員を配置、木材処理業者の応援もいただいて、9時過ぎから16時前までの結構厳しい作業となつたが、綺麗になつた法面に心地よい満足感があつた。

最後に「がんばれ三江線!」と祈りを込めて参加者全員で記念写真を撮つた。

わずか800mの作業であつたが、いつまでも三江線が走り続けることを願うばかりである。

シリーズ 追跡

どうなったの? あの質問...

本会議で行った一般質問で改善や検討を求めています。指摘した事項に、町当局がどう取り組んでいるかを追跡調査しました。



問

鳥獣被害対策は?

答

鳥獣害に強い畑づくりの研修会で地域ぐるみの対策を進める



青空サロン3号店を開店した比之宮地区の研修風景

田舎の地域づくりは

高齢者の力！



地域おこし協力隊

上原 悠輔

沢谷・九日市の上原悠輔で

す。地域配属の協力隊として、この4月より沢谷地域連合自治会の業務に当たっています。同連合自治会には、総務福祉・地域振興・文化体育の3つの部会が組織されており、私はとりわけ地域振興部の業務に従事しています。最近では、「地あぶらプロジェクト」と題した健康食用油の開発に取り組んでいます。この事業の一連の過程、たとえば原料となる菜の花やひまわりの栽培・収穫、搾油実験などのようすは、地域のホームページである「沢谷どっとこむ」に掲載されています。是非ともご覧ください。

さて前記のとおり、私は今年度から美郷町にまいりました

め、ここでの暮らしもまる3か月が過ぎたことになります。一

住民としてあたりまえに地域生活を享受しながら、他方では連合自治会とい

うコミュニ

ティ組織において地域運営を考える、と

いう両面的な生活により、

田舎の地域づ

くりとは何たるかを無意識に考える時間

が多くなりました。ここではそ

の一端、私がこの3か月の経験に基づき認識した、「コミュニ

ティ組織における担い手の現状とその課題について考えてみた



「地あぶらプロジェクト」なたねの収穫状況

いと思います。

私は、田舎におけるコミュニ

ティ組織の最大の担い手は、何といってもご年配の方々である

ことを大いに

実感しまし

た。前記の地域振興部では

昨年度から過疎交付金を活

用し、地あぶ

らプロジェクト

トしかり地域を元気にする

ための各種事

業を推進しています。これらを円滑に運営するために、その担

い手は議論し、意思決定し、実

施するという各フェーズを複数

の事業で並行的に進めなければ

なりません。同部会の現状では、平日を厭わず最低でも週2

〜3日の活動が展開されています。それゆえ、平日に勤めてい

らっしゃる方々の参加が制限されるため、こうした事業の担

手は50〜70代のリタイア後の男性や専業主婦の女性を中心とな

ります。

ところで、こうしたコミュニ

ティ活動の状況について、その良し悪しを判断するためには、

どういった尺度によりこれを眺めるかということが重要である

と思います。同部会のそれを「事業展開のスピード感」とい

うものさしで測れば、少人数で

しかも限定的な構成員での活動は、これを促進する方に作用す

ることが考えられるため、よい状態であると判断できます。一

方、「住民どっしの連帯感の醸成」というものさしで測れば、

活動に参加できない住民は疎外

感を覚えるかもしれないため、

わるい状態と断定し改善した方がよいかもしれません。つまり、

地域づくりに対する価値判断は、その地域の成熟度に応じた

適正な解釈によってなされるべきと考えられます。

「コミュニティ組織の事業が活

発になればなるほど、一部のこ

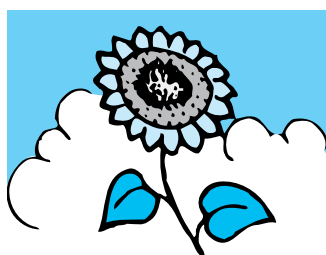
年配の方々に依存した地域づくりとなってしまうこの状況を、

どのように解釈し対策するのか。これは沢谷地域連合自治会の検

討課題であると同時に、一般的な田舎のコミュニティ組織にお

いて見いだされうる普遍的な課題といえるのではないでしょ

うか。



定住対策に期待してますよ

定住が最重点課題のもと、
広島美郷会が10周年総会の懇親会に参加した。

東京や大阪の「ふるさと会」と違なり、役場から僅か2時間で広島会場に到着。この移動時間の短さは嬉しいのだが、その身近に感じる分、会員の方々のふるさとへの意識が、希薄になっ
てはいないかとの思いが過ぎる。

町事務局からは4名の参加。何故か田舎暮らしコーディネーターの姿が見えないことに不満を感じつつ、充実した交流会になることを期待。

来賓紹介、町長挨拶の後に乾杯で懇親会が始まった。



町長の挨拶

：町配布資料の一部内容と程度に疑問を抱きながらも、神楽の幕間にも資料の説明があるものと期待。

しかし：具体的な説明もな



千原神楽団の神楽



懇親会の様子

く、せめて今年度のUIターン者支援の新施策「定住ポイント」、「定住者用住宅改修事業」等の話ぐらいいはと思いきや：それも無い。

これでは最重点課題に対する町の思いが解らないし、新設された課の姿が見えない。

定住に取り組む姿勢にイエローカードか？

参加者との記念撮影、ささやかでも町特産品の抽選会、最後に「ふるさと」の合唱。最低これぐらいの、演出の打ち合わせは必要だ。

「町政全般と自らの仕事に関心を持って望め：仕事のリスクから逃げるな：」

トップの叫び声がむなくし頭をよぎる。

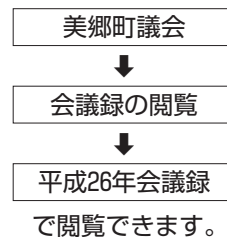
藤原記

議会改革の小さな一歩ですが…

前回、一般質問の傍聴者が事前放送のおかげで増えたことをお知らせしました。これも議会改革の成果と議員一同喜んでおります。

ところで、町のホームページの議会のコンテンツの中で、一般質問の議事録が公開されていることをご存知ですか？

美郷町ホームページを開いていただき



議会広報の中では限られた紙面なので、詳しく載せられないのですが、是非とも閲覧してみてください。
各議員の熱い思いが、町当局とのやり取りの中で感じられますよ…

編集後記



梅雨の晴れ間、田んぼの苗が風になびき、心地良く感じられます。

第2回定例会（6月議会）は、タブレット端末を導入後、初めてのペーパーレスの議会となり、資料をめくる音もなく静かな中にも活発な議会となりました。タブレット導入前に先進地の視察研修に行きましたが、自分も使えるようになるのかと不安な気持ちで研修を受けました。今では何とか使うことが出来、議会運営もスムーズになったように感じます。島根県内

は初めての取り組みで、広島県庄原市議会より8名の傍聴もあり、緊張しながらの議会でした。
議会が終了し、広報委員6名が議会だよりの準備に入りました。委員長以外は新人委員ですが、チームワークが取れ、思いのほか短い時間で作成することが出来ました。

私たちは、皆様に楽しみにしていただける「議会だより」を目指し、議会の役割や議会活動をより身近に感じ、関心を持っていただけるような誌面にしていきたいと思っています。皆さんのご意見をお聞かせ下さい。

栗原記